



朔太郎没後80年・犀星没後60年・龍之介生誕130年 記念企画展

朔太郎・ 犀星・龍之介の 友情と 詩的精神

タバタニサクタロウキタリ



萩原朔太郎



室生犀星



芥川龍之介

入場無料

2022年 10月1日 土

2023年 1月22日 日
※休館日を除く

会場

田端文士村記念館

【JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分】

開館時間

10:00~17:00
(入館は16:30まで)

休館日

月曜日(祝日の時は火・水曜)
祝日の翌日(土・日の時は翌火曜)
年末年始(12月29日~1月3日)

【主催・問合せ】(公財)北区文化振興財団 田端文士村記念館 TEL.03-5685-5171

【共催】東京都北区 【協力】萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館

※萩原朔太郎の直筆資料は資料保護の観点から、11月25日(金)より一部を入れ替えて展示します。

写真:「近代日本人の肖像」(国立国会図書館)

朔太郎没後80年・犀星没後60年・龍之介生誕130年 記念企画展

朔太郎・犀星・龍之介の友情と詩的精神
タバタニサクタロウキタリ

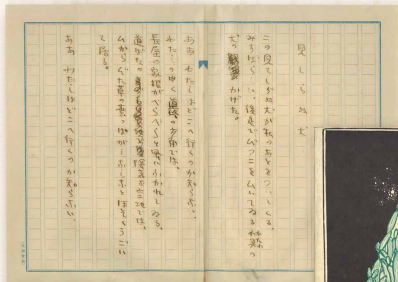
「田端に萩原朔太郎来り、田端大いに詩的なり」

これは朔太郎が田端に転居してきたことを喜ぶ芥川龍之介の言葉です。親友・室生犀星を頼りに田端へやってきた朔太郎は、この地で龍之介と出会います。3人は、互いを批評し活発な議論を交わすなど、それぞれが刺激し合える唯一無二の関係となりました。

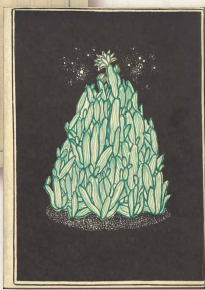
本展では3人の友情と詩的精神について、朔太郎と犀星の初公開資料や龍之介の貴重な原稿など、様々な関連資料とエピソードから紐解きます。

※本展は「萩原朔太郎大全2022」に参加しています。

萩原朔太郎「見しらぬ犬」詩稿

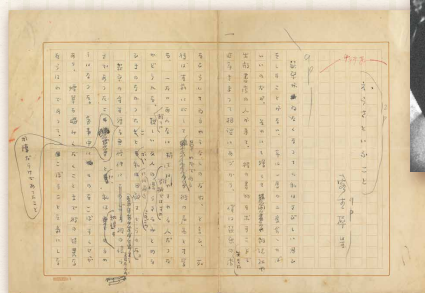


『月に伏える』収録の詩!!



萩原朔太郎『月に伏える』

亡き親友・朔太郎への想いを綴った原稿!!



室生犀星「えらさといふこと」原稿(全集未収録)



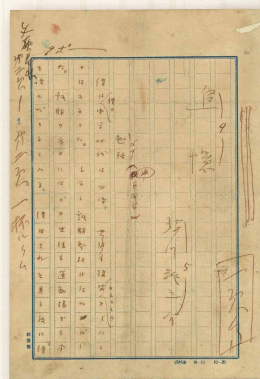
左:室生犀星
右:萩原朔太郎
(昭和14年10月19日)
©前橋文学館

初公開資料



朔太郎の初版本も多数展示

朔太郎が「詩」を感じた龍之介の作品の原稿



芥川龍之介「追憶」原稿



芥川龍之介
©「近代日本人の肖像」
(国立国会図書館)

常設展示スペースで同時開催 特別展

- ①「芥川龍之介と夏目漱石」
- ②「野口雨情 生誕140周年 ～童謡に込められた雨情の詩心」

主催・問合せ

(公財)北区文化振興財団

田端文士村記念館



〒114-8523 東京都北区田端6-1-2 ☎03-5685-5171

JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分

※駐車・駐輪場は隣接の有料施設をご利用ください。

<https://kitabunka.or.jp/tabata/>

@bunshimura

※新型コロナウイルス感染状況により内容が変更になる場合があります。最新情報は記念館ホームページ等でご確認ください。

「萩原朔太郎大全 2022」参加館の北区立中央図書館で開催

特別展『田端文士とキーン先生 ～萩原朔太郎～』

2022年11月1日(火)～2023年2月5日(日)

「ドナルド・キーンコレクションコーナー(キーン旧蔵書)」で、朔太郎への評論原稿などを紹介する特別展を開催。また、田端文士村記念館・北区立中央図書館・田端図書館3館を結ぶスタンプラリー(10/1～2/5※各館の休館日を除く)も行います。

会場: 北区立中央図書館

開館時間: 平日・土曜 9:00～20:00、日曜・祝日 9:00～17:00

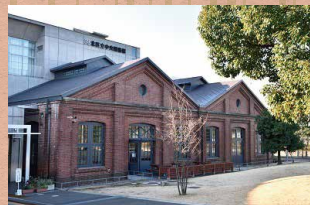
休館日: 第1・3・5月曜、第4木曜日、

臨時休館日(12月14日～1月4日)

交通: JR京浜東北線・東京メトロ南北線「王子駅」北口 徒歩15分

北区コミュニティバス「中央図書館」すぐ

電話: 03-5993-1125



▲北区立中央図書館